

渋川市の特色ある 英語教育の推進について



渋川市の特色ある 英語教育の推進について

1. ALTの活用について
2. 小規模特認校の取組について
3. 渋川グローバル・コミュニケーション
・デーについて



1. ALTの活用について

市内ALT: 16人

小学校専属7名、中学校専属6名、小中学校兼務3名

●英語教育に関わる職務



テストや課題の
実施、評価の補助



授業の補助



授業準備の打ち合わせ



教材等の作成



英語通信等で情報発信



研修会の企画・補助



洗川グローバル・コミュニケー
ション・デーの企画・補助



English post を設置
し、児童生徒と文通



文化紹介等の掲示物
作成



井論大会等における
スピーチ指導



英会話クラブ、絵本の
読み聞かせ等の交流

1. ALTの活用について

英語教育に関わる職務だけでなく、他教科の授業や学校行事への参加、給食・清掃指導など、様々な活動に参加しています。

●英語教育以外の職務



1. ALTの活用について



2. 小規模特認校の取組について

伊香保小学校 小野上小学校にALTを1名ずつ配置。
英語の授業だけでなく、様々な教科の授業に参加したり、朝の会や帰りの会、給食や清掃、校外学習の引率などしたりしています。そのため、児童と一緒に過ごす時間が長く、児童にとって、英語以外の授業等にもALTがいることは普通のことになっており、友達と話すのと同じように、ALTと自然と英語で会話をしています。



家庭科の授業

朝の会



2. 小規模特認校の取組について(伊香保小)



2. 小規模特認校の取組について(小野上小)



3. 渋谷グローバル・コミュニケーション・デーについて



ねらい

ALTを複数名派遣して英語による言語活動を充実させることで、児童生徒がコミュニケーション能力の素地や基礎を養ったり、自国や他国の文化について理解を深めたりできるようにする。

令和5年度
市内全小中学校 23校
31日間で実施



3. 渋川グローバル・コミュニケーション・デーについて



渋川グローバル コミュニケーションデー 当日

- 運営は自校のALTが中心となって行います。
- 他校のALTと会話をしたり触れ合ったりする機会を設けます。
- 日本人の先生による説明等は不要です。ALTに全てお任せください。

★英語のシャワーをたくさん浴びる1日に！

各小中学校



日程・活動場所の検討

実施希望日、実施形態（クラス単位 or 学年等）、当日使用可能な場所の検討をお願いします。

ALT+事務局



活動案の検討

学校の規模や実態に応じた活動の内容を企画、提案できるようにします。



日程・ALT派遣調整

各校の希望をもとに、日程およびALTの派遣を調整します。
ALTは、在籍校のALTがコーディネーターを務めます。



当日の動きの確認

ALT meeting や classroom を活用して、当日の流れや動きを担当ALTと確認、リハーサル等を行います。

- ALTが自校の実態に応じた活動案を提案し、ALT meetingで内容の検討。

- 英語のシャワーをたくさん浴びる1日になるよう、ALTが中心となって運営。

- 児童生徒がALTとのコミュニケーションを楽しめるような活動を実施。

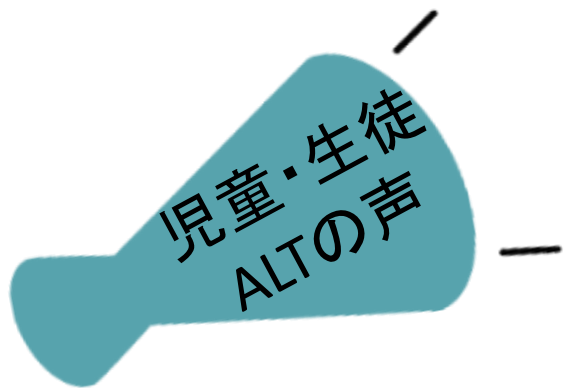


渋川市教育委員会

3. 渋谷グローバル・コミュニケーション・デーについて

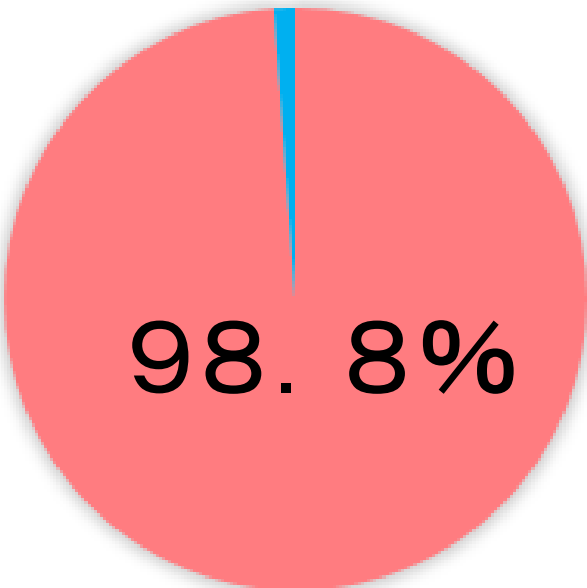


3. 渋谷グローバル・コミュニケーション・デーについて



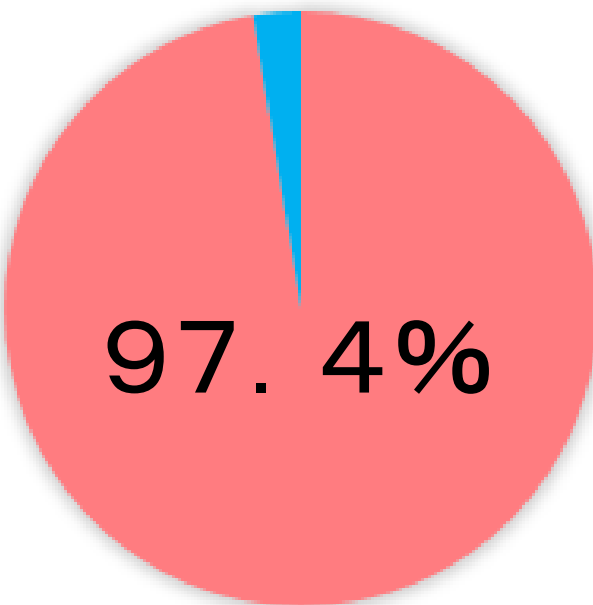
SGCDは楽しかったですか？

小学生
いいえ



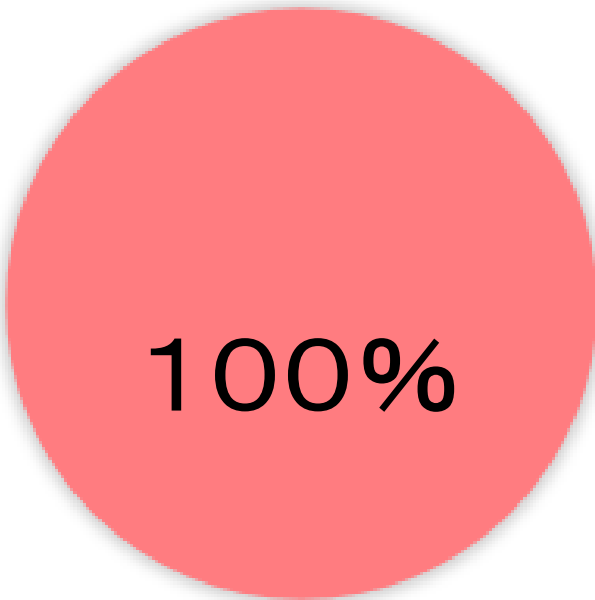
はい

中学生
いいえ



はい

ALT

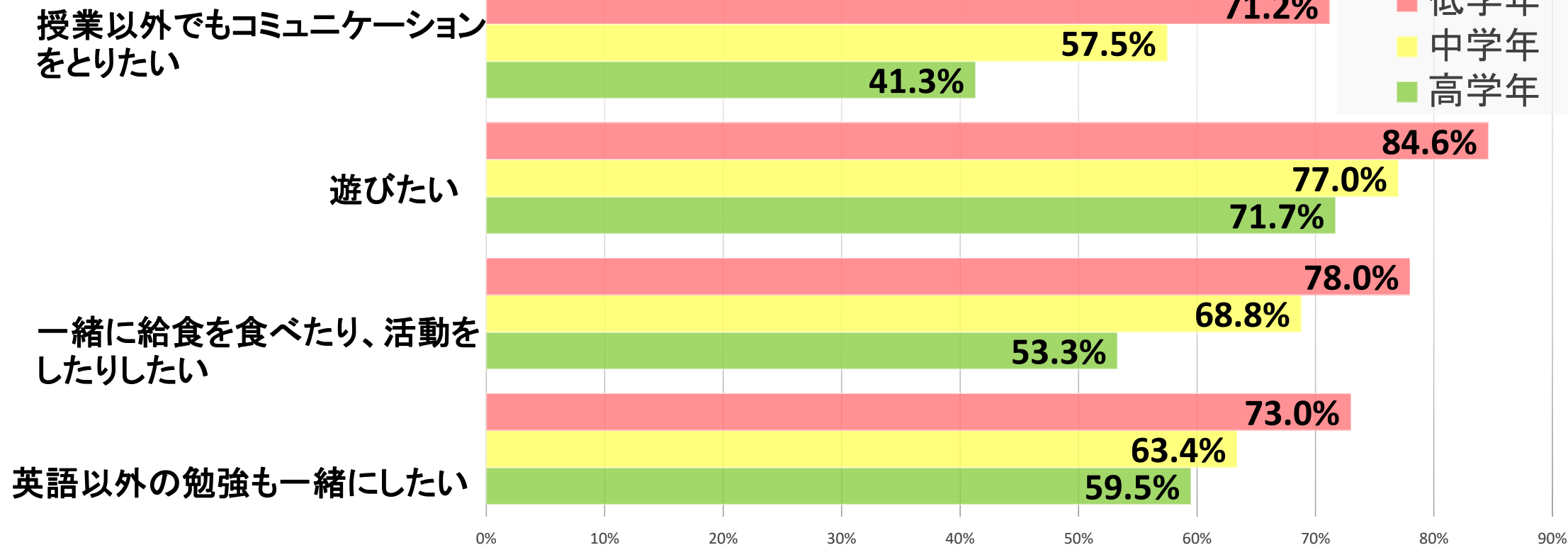


3. 渋谷グローバル・コミュニケーション・デーについて

児童の声

今後の学校生活でALTの先生と
どのようなことをしたいですか？

* 当てはまるもの全てにチェックを入れる方法で回答



3. 渋谷グローバル・コミュニケーション・デーについて



今後の学校生活でALTの先生と
どのようなことをしたいですか？

* 当てはまるもの全てにチェックを入れる方法で回答

授業外の活動をもっと一緒に
やりたい

45.5%

出身国や文化についてもっと
教えてほしい

56.0%

授業内・授業外でもっとコミュ
ニケーションをとりたい

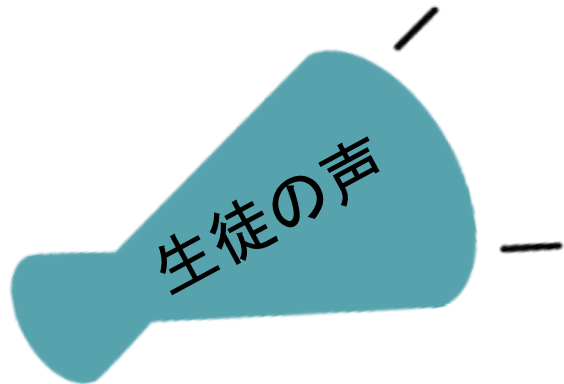
60.8%

英語以外の授業でも、一緒に
勉強したい

43.8%

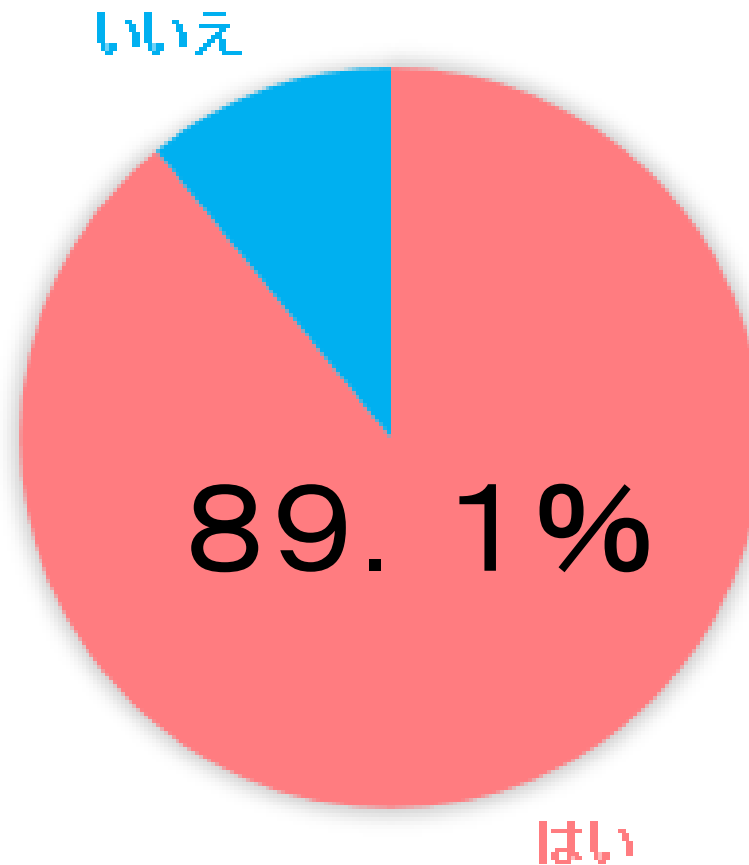
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

3. 渋谷グローバル・コミュニケーション・デーについて



SGCDの中で、自ら進んで英語を使おうとしましたか？

中学生



3. 渋谷グローバル・コミュニケーション・デーについて

成果と課題

成果

- ・児童生徒のほうからALTと触れ合おうとする姿が多く見られ、児童生徒もALTも交流を楽しんでいた。
- ・他校のALTを複数名派遣したことで、本校のALTとは違う国籍の外国人と交流する機会を設けることができた。文化の違いや、話す英語の違いなど、様々なことに気付くことができた。
- ・SGCDは英語を話す時間だという意識をもって児童生徒が参加していた。日本語を話そうとせず、身振り手振りを交えながら、何とか自分の思いや考えを伝えようとする姿が見られた。

課題

- ・学年全体などの大人数で行った学校ほど、満足度が低い傾向にあった。児童生徒の「もっと話したい」という思いに応えられるよう、ALTとの交流の時間を確保できるような活動内容や形態を工夫する。



渋川市の特色ある英語教育の推進について



- 学校生活の様々な場面でALTと関わり、英語を身近に感じられるようにする。

- SGCDを通して、英語のシャワーを浴びる体験ができるようにする。「英語で話したい。」という意欲をもたせたり、「伝わった。」という達成感をもたせたりする。